

# I 令和3年度事業報告書

公益財団法人瑞鳳殿は、仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯内伊達家墓所の保存整備並びに伊達家霊廟等に関する調査研究を行い、併せて、当該施設の鑑賞の機会を提供し、もって文化の向上に寄与することを目的としており、その目的を達成するため令和3年度において次の事業を行った。

## (I) 事業報告

### 1 施設休館

#### (1)新型コロナウイルス感染症予防対策による休館

- ・4月1日(木)～4月11日(日) 全館休館
- ・4月12日(月)～5月5日(水) 全館休館(延長)
- ・5月6日(木)～5月11日(火) 全館休館(再延長)
- ・8月30日(月)～9月12日(日) 資料館・売店の休館

#### (2)施設公開規程による休館

- ・12月31日(金) 全館休館

#### (3)福島県沖地震による休館

- ・3月17日(木)～3月18日(金) 全館休館
- ・3月19日(土)～3月27日(日) 資料館のみ休館

### 2 施設公開

#### (1)御霊屋の特別開帳と遠忌法要等

- ①初代藩主伊達政宗公遠忌法要縮小開催、瑞鳳殿特別開帳  
5月24日(月) (観覧者数:131人)
- ②三代藩主伊達綱宗公遠忌法要縮小開催、善応殿特別開帳  
6月4日(金) (観覧者数:26人)
- ③二代藩主伊達忠宗公遠忌法要縮小開催、感仙殿特別開帳  
7月12日(月) (観覧者数:223人)
- ④仙台七夕期間、瑞鳳殿特別開帳  
8月6日(金)～8日(日) (3日間 観覧者数:1,887人)
- ⑤お盆、瑞鳳殿特別開帳  
8月15日(日) (観覧者数:593人)
- ⑥秋の瑞鳳殿特別開帳  
10月2日(土)～17日(日) (16日間 観覧者数:6,228人)  
※ 10月・11月期間限定で特別御集印を4,304枚頒布
- ⑦元朝詣り、瑞鳳殿特別開帳(瑞鳳殿のみ無料公開)  
1月1日(土) (無料観覧者数:815人)
- ⑧新年拝礼式縮小開催、瑞鳳殿特別開帳  
1月2日(日) (観覧者数:550人)

### 3 企画展の開催

#### (1)秋のミニ企画展

「写真で見る国宝瑞鳳殿Ⅱ」（秋の特別御開帳期間に合わせて開催）

資料館の前室と拝殿にて戦災で焼失した国宝瑞鳳殿の写真パネルと紙の建築模型

「国宝瑞鳳殿起絵図(おこしえず)」の展示

10月16日(土)～11月14日(日)

(30日間 観覧者数:17,479人)

#### (2)雛祭りミニ企画展「ひいなあそび」

伊達家家紋が蒔絵された鏡台や、伊達家にお嫁入された御姫様方所有の髪道具などのほか、竹に雀の意匠が施された御殿雛などを展示

2月26日(土)～3月16日(水)

(19日間 観覧者数:5,823人)

### 4 各種イベント

#### (1)七夕ナイト 夜間イベントは中止

8月6日(金)～8日(日)

①営業時間を2時間延長し建造物及び境内のライトアップ

②拝殿で伝統七夕飾りの展示

③資料館での七夕ミニ企画展の開催

(3日間 観覧者数:1,887人)

※②、③は7月22日(木)～8月9日(月)

(19日間 観覧者数:9,068人)

#### (2)紅葉めぐり 夜間イベントは中止

11月19日(金)～28日(日)

①営業時間内の夕刻に建造物及び境内の紅葉ライトアップ

②拝殿を活用したインスタレーション「灯り遊び」の実施

プロジェクターの映像による四季の紹介

③伊達武将隊による演武やおもてなし

(10日間 観覧者数:9,427人)

#### (3)講座等

##### ①政宗歴史塾

(新型コロナウイルス感染症予防のためWEB上での動画配信とした)

「WEB開講特別編-瑞鳳殿評定河原橋から見る瑞鳳殿周辺の歴史」

8月3日(火)より公開中

伊達武将隊出演による動画制作を(株)ハートアンドブレインと共催

#### (4)その他のイベント

##### ①仙台の伝統的な門松展示

展示期間:12月19日(日)～1月14日(金)

(25日間 観覧者数:8,486人 ※12月31日休館日及び1月1日無料開放日を除く)

#### (5)中止となったイベント

##### ①奉納の会(5月)

##### ②仙台青葉まつり五葉山火縄銃鉄砲隊出陣式(5月)

##### ③伊達家当主と廻る伊達家墓所巡り(6月・10月)

##### ④七夕ナイト(夜間イベント)(8月)

参道・境内ライトアップ、森のコンサート等

##### ⑤秋の茶会(10月)

##### ⑥秋の能楽(10月)

##### ⑦植物-インスタレーション(11月)

##### ⑧紅葉めぐり秋のライトアップ(夜間イベント)(11月)

##### ⑨新酒の奉納(3月)

### 5 広報事業

(1)瑞鳳殿広報誌「経ヶ峯の四季第18号」の発行(9月)

(2)瑞鳳殿ホームページ・SNS運用

(3)観光情報誌等への情報掲出

(4)仙台空港、JR仙台駅構内への電照広告

### 6 瑞鳳殿施設の解説・案内

(1)Uni-Voiceによる多言語ガイドシステムの運用

(2)瑞鳳殿ボランティアガイドによる解説・案内

一般のお客様へのガイドは10月末まで自粛し、11月から感染予防対策を講じながら、活動を再開。ただし、七夕期間の8月6日(金)～8日(日)、お盆8月15日(日)、秋の特別御開帳期間等に合わせて、期間限定ガイドを行った。

また、学校の修学旅行、遠足、校外学習等を目的とした団体等に対しては通年でガイドを実施した。

(3)多言語リーフレットの運用

### 7 学校・観光事業者等に対する支援

(1)校外学習受け入れ 66校 2,316人

昨年に引続き新型コロナウイルス感染症の流行下にあるものの、令和2年度に比して学校数、人数共に増加している。

(2)博物館実習生の受け入れ

1名(東北学院大学文学部歴史学科3年)

大学における博物館学芸員養成課程(国家資格)で必須となる現場実習  
実習期間:9月27日(月)～10月1日(金) (計5日間)

## 8 伊達政宗公復顔像の制作

昭和50年代の復顔から40年が経過し、国立科学博物館と共同で、最新の研究成果と技術を使って政宗公の顔を復元した復顔像を制作した。

## 9 協賛

- (1) 仙台青葉まつり代替催事協賛
- (2) SENDAI 光のページェント協賛

## 10 防災・環境衛生活動

- (1) 瑞鳳殿すす払い  
12月15日(水)
- (2) 消防訓練  
2月18日(金)

## 11 施設等の老朽・安全対策

- (1) 墓石・石灯籠等復旧工事
- (2) 東屋改築工事
- (3) 土墨土留更新工事

## 12 感染症対策

- (1) 感染症対策の表示
- (2) 消毒液の設置、境内の消毒・換気
- (3) 休憩スペースのテーブル・椅子等の撤去
- (4) 境内・資料館への入場制限
- (5) 受付窓口での安全対策
- (6) 財団職員の感染症予防対策

## 13 インバウンド対応

- (1) Uni-Voice による多言語音声ガイドシステム
- (2) Wi-Fi 環境

## 14 お客様サービス

- (1) 売店(休憩所)の運営・管理
- (2) 観覧者専用駐車場の運営・管理
- (3) キャッシュレス決済(AirREGI・AirPAY・AirPAY QR)
- (4) MIRAIRO ID の導入

## 15 従業員表彰

優良従業員勤続 30 年で職員 1 名 仙台商工会議所から表彰を受ける

## 16 福島県沖地震による被害状況等

令和 3 年 2 月 13 日に発生した福島県沖地震による被害により、本殿や木像、石垣や石段、資料館などには大きな被害なし。

ただし、墓石や石灯籠の倒壊が多数発生し、総数 231 基のうち、約 6 割の 137 基に倒壊などの被害を受けた。

財団の基本財産である殉死者供養塔の復旧作業は令和 3 年 8 月 28 日に完了。

仙台市が所管する境内の石灯籠も令和 3 年 7 月末に設計を終え、令和 4 年 3 月末までに復旧作業を完了する予定となっていたが、令和 4 年 3 月 16 日深夜に発生した地震により新たな被害が発生

令和 4 年 3 月 16 日(水) 23 時 36 分頃発生

### (1)被害状況

- ・瑞鳳殿エリアの地盤にひび割れが発生、感仙殿・善応殿エリアの石垣にズレが発生
- ・資料館展示ケース固定具、照明器具の損傷及び展示品の位置ズレが発生
- ・墓石や石灯籠等の倒壊、倒壊していなくとも位置ズレが発生

総数	231 基(御子様御廟を含む)のうち
倒壊	21 基
位置ズレ	20 基

### (2)対応状況

- ・被害状況や安全性の確認のため、3 月 17 日・18 日の 2 日間は臨時休館とした
- ・石灯籠の一部は倒壊しているが、瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の 3 霊廟や資料館、管理棟の施設躯体及び敷地地盤に大きな被害はなく、観覧ルートของ安全性も確認できたことから、資料館を除き 3 月 19 日から再開館とした
- ・資料館は、展示ケース固定具や照明器具の修復工事を施し、3 月 28 日から再開館とした

### (3)今後の復旧作業

- ・経ヶ峯伊達家墓所を所管する仙台市と連携を図りながら、早期の復旧に向けて着手
- ・仙台市において復旧方法、費用、期間を積算するための設計に入り、設計後に観覧者の安全を確保しつつ復旧工事に着手する

## (II) 観覧者数の動向 (3ヵ年・対前年度増減比)

- ・令和元年度 276,752 人 (3.5%増)  
大人:258,004 人 高校生:3,983 人 小中学生:14,765 人
- ・令和2年度 102,582 人 (62.9%減)  
大人:95,487 人 高校生:1,921 人 小中学生:5,174 人
- ・令和3年度 106,518 人 (3.8%増)  
大人:98,136 人 高校生:3,254 人 小中学生:5,128 人

## (III) 庶務報告

### 1 理事会に関する事項

- (1) 第1回理事会 6月9日(水) 書面による決議  
議案・令和2年度事業報告及び決算に関する件
  - ・評議員会の招集に関する件
- (2) 第2回理事会 3月23日(水) 会場/江陽グランドホテル  
議案・令和3年度収支予算補正に関する件
  - ・瑞鳳殿等建物長期修繕計画の改正に関する件
  - ・常勤役員の報酬年額の決定に関する件
  - ・令和4年度事業計画に関する件
  - ・令和4年度収支予算に関する件

### 2 評議員会に関する事項

- 令和3年度定時評議員会 6月22日(火) 書面による決議  
議案・評議員の選任に関する件
  - ・役員の選任に関する件
  - ・令和2年度決算に関する件

### 3 役員及び評議員並びに職員に関する事項(令和4年3月31日現在)

- (1) 役員  
理事9名 監事2名
- (2) 評議員  
9名
- (3) 職員  
事務局長(常務理事兼務)、次長、一般職員5名、嘱託職員3名、臨時職員10名

### 4 届出に関する事項

届出年月日	件名	届出先
令和3年6月29日(火)	令和2年度事業報告等の提出	宮城県知事
令和4年3月30日(水)	令和4年度事業計画書等の提出	宮城県知事

## II 貸借対照表 令和4年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	23,912,993	44,035,190	△ 20,122,197
売掛金	267,150	107,960	159,190
未収金	89,612	2,117,414	△ 2,027,802
前払費用	112,200	35,200	77,000
流動資産合計	24,381,955	46,295,764	△ 21,913,809
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	728,610,601	731,992,242	△ 3,381,641
構築物	7,978,275	8,474,837	△ 496,562
霊廟関係資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	149,753,924	145,875,721	3,878,203
基本財産合計	888,342,800	888,342,800	0
(2) 特定資産			
霊廟整備積立資産	130,986,680	130,986,680	0
減価償却引当資産	46,506,944	49,806,944	△ 3,300,000
資料購入積立資産	21,000,000	21,500,000	△ 500,000
退職給付引当資産	26,511,000	25,035,000	1,476,000
特定資産合計	225,004,624	227,328,624	△ 2,324,000
(3) その他固定資産			
建物	2,262,044	2,623,545	△ 361,501
構築物	15,595,501	13,326,102	2,269,399
霊廟関係資産	484,377	2	484,375
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,154,584	1,770,296	△ 615,712
その他固定資産合計	19,496,507	17,719,946	1,776,561
固定資産合計	1,132,843,931	1,133,391,370	△ 547,439
資産合計	1,157,225,886	1,179,687,134	△ 22,461,248
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,528,410	3,183,564	△ 655,154
未払法人税等	72,000	0	72,000
預り金	123,500	387,913	△ 264,413
賞与引当金	2,678,000	2,830,000	△ 152,000
流動負債合計	5,401,910	6,401,477	△ 999,567
2. 固定負債			
退職給付引当金	26,511,000	25,035,000	1,476,000
固定負債合計	26,511,000	25,035,000	1,476,000
負債合計	31,912,910	31,436,477	476,433
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産合計	782,556,000	782,556,000	0
(うち基本財産への充当額)	(782,556,000)	(782,556,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(105,786,800)	(105,786,800)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(225,004,624)	(227,328,624)	(△ 2,324,000)
正味財産合計	1,125,312,976	1,148,250,657	△ 22,937,681
負債及び正味財産合計	1,157,225,886	1,179,687,134	△ 22,461,248

Ⅲ 正味財産増減計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1.経常増減の部</b>			
<b>(1)経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	<b>34,510</b>	<b>35,637</b>	<b>△ 1,127</b>
基本財産受取利息	34,510	35,637	△ 1,127
<b>事業収益</b>	<b>56,719,620</b>	<b>54,121,886</b>	<b>2,597,734</b>
観覧料収益	53,724,830	52,486,636	1,238,194
刊行物販売収益	2,994,790	1,635,250	1,359,540
<b>受取寄付金</b>	<b>32,000</b>	<b>50,000</b>	<b>△ 18,000</b>
受取寄付金	32,000	50,000	△ 18,000
<b>雑収益</b>	<b>5,855,003</b>	<b>4,844,147</b>	<b>1,010,856</b>
受取利息	35,251	47,085	△ 11,834
雑収益	5,819,752	4,797,062	1,022,690
<b>経常収益計</b>	<b>62,641,133</b>	<b>59,051,670</b>	<b>3,589,463</b>
<b>(2)経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>79,759,794</b>	<b>84,572,422</b>	<b>△ 4,812,628</b>
役員報酬	3,285,000	2,628,078	656,922
給料手当	32,701,579	36,814,930	△ 4,113,351
臨時雇賃金	13,537,921	13,308,069	229,852
賞与引当金繰入額	2,623,000	2,775,000	△ 152,000
退職給付費用	1,033,000	636,080	396,920
福利厚生費	6,189,613	7,011,821	△ 822,208
交際費	35,442	68,172	△ 32,730
旅費交通費	13,770	24,273	△ 10,503
通信運搬費	354,676	336,983	17,693
減価償却費	5,758,101	6,437,081	△ 678,980
消耗什器備品	222,819	331,958	△ 109,139
消耗品費	1,756,973	1,444,362	312,611
修繕費	1,216,268	1,885,672	△ 669,404
印刷製本費	374,411	352,484	21,927
賃借料	908,355	955,133	△ 46,778
広告料	765,911	579,461	186,450
保険料	839,160	823,692	15,468
支払手数料	479,598	402,741	76,857
諸謝金	330,000	330,000	0
租税公課	3,822,810	3,999,300	△ 176,490
支払負担金	256,424	180,374	76,050
委託費	2,614,080	2,619,398	△ 5,318
光熱水料費	578,572	571,939	6,633
燃料費	35,486	28,564	6,922
雑費	26,825	26,857	△ 32



科目	当年度	前年度	増減
<b>管理費</b>	<b>5,738,889</b>	<b>5,597,520</b>	<b>141,369</b>
役員報酬	1,273,000	1,030,029	242,971
給料手当	1,569,797	1,828,437	△ 258,640
賞与引当金繰入額	55,000	55,000	0
退職給付費用	443,000	272,605	170,395
福利厚生費	404,960	412,351	△ 7,391
会議費	58,285	68,660	△ 10,375
交際費	4,322	15,312	△ 10,990
旅費交通費	2,220	16,342	△ 14,122
通信運搬費	106,719	112,221	△ 5,502
減価償却費	525,910	525,910	0
消耗品費	8,976	8,976	0
修繕費	1,037	680	357
印刷製本費	0	891	△ 891
保険料	16,840	16,468	372
支払負担金	20,876	23,426	△ 2,550
光熱水料費	867,859	898,759	△ 30,900
燃料費	358,792	288,789	70,003
雑費	21,296	22,664	△ 1,368
<b>経常費用計</b>	<b>85,498,683</b>	<b>90,169,942</b>	<b>△ 4,671,259</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 22,857,550</b>	<b>△ 31,118,272</b>	<b>8,260,722</b>
<b>2.経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損	8,131	1	8,130
建物除却損	8,131	1	8,130
経常外費用計	8,131	1	8,130
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 8,131</b>	<b>△ 1</b>	<b>△ 8,130</b>
法人税、住民税及び事業税	72,000	0	72,000
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 22,937,681</b>	<b>△ 31,118,273</b>	<b>8,180,592</b>
一般正味財産期首残高	365,694,657	396,812,930	△ 31,118,273
一般正味財産期末残高	<b>342,756,976</b>	<b>365,694,657</b>	<b>△ 22,937,681</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産期末残高	<b>782,556,000</b>	<b>782,556,000</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>1,125,312,976</b>	<b>1,148,250,657</b>	<b>△ 22,937,681</b>

## IV 正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1.経常増減の部</b>			
<b>(1)経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	<b>34,510</b>		<b>34,510</b>
基本財産受取利息	34,510		34,510
<b>事業収益</b>	<b>49,719,620</b>	<b>7,000,000</b>	<b>56,719,620</b>
観覧料収益	46,724,830	7,000,000	53,724,830
刊行物販売収益	2,994,790		2,994,790
<b>受取寄付金</b>	<b>32,000</b>		<b>32,000</b>
受取寄付金	32,000		32,000
<b>雑収益</b>	<b>5,855,003</b>		<b>5,855,003</b>
受取利息	35,251		35,251
雑収益	5,819,752		5,819,752
<b>経常収益計</b>	<b>55,641,133</b>	<b>7,000,000</b>	<b>62,641,133</b>
<b>(2)経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>79,759,794</b>		<b>79,759,794</b>
役員報酬	3,285,000		3,285,000
給料手当	32,701,579		32,701,579
臨時雇賃金	13,537,921		13,537,921
賞与引当金繰入額	2,623,000		2,623,000
退職給付費用	1,033,000		1,033,000
福利厚生費	6,189,613		6,189,613
交際費	35,442		35,442
旅費交通費	13,770		13,770
通信運搬費	354,676		354,676
減価償却費	5,758,101		5,758,101
消耗什器備品	222,819		222,819
消耗品費	1,756,973		1,756,973
修繕費	1,216,268		1,216,268
印刷製本費	374,411		374,411
賃借料	908,355		908,355
広告料	765,911		765,911
保険料	839,160		839,160
支払手数料	479,598		479,598
諸謝金	330,000		330,000
租税公課	3,822,810		3,822,810
支払負担金	256,424		256,424
委託費	2,614,080		2,614,080
光熱水料費	578,572		578,572
燃料費	35,486		35,486
雑費	26,825		26,825

科目	公益目的事業	法人会計	合計
<b>管理費</b>		<b>5,738,889</b>	<b>5,738,889</b>
役員報酬		1,273,000	1,273,000
給料手当		1,569,797	1,569,797
賞与引当金繰入額		55,000	55,000
退職給付費用		443,000	443,000
福利厚生費		404,960	404,960
会議費		58,285	58,285
交際費		4,322	4,322
旅費交通費		2,220	2,220
通信運搬費		106,719	106,719
減価償却費		525,910	525,910
消耗品費		8,976	8,976
修繕費		1,037	1,037
印刷製本費		0	0
保険料		16,840	16,840
支払負担金		20,876	20,876
光熱水料費		867,859	867,859
燃料費		358,792	358,792
雑費		21,296	21,296
<b>経常費用計</b>	<b>79,759,794</b>	<b>5,738,889</b>	<b>85,498,683</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 24,118,661</b>	<b>1,261,111</b>	<b>△ 22,857,550</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	8,131	0	8,131
建物除却損	8,131	0	8,131
経常外費用計	8,131	0	8,131
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 8,131</b>	<b>0</b>	<b>△ 8,131</b>
法人税、住民税及び事業税	72,000		72,000
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 24,198,792</b>	<b>1,261,111</b>	<b>△ 22,937,681</b>
一般正味財産期首残高			365,694,657
一般正味財産期末残高			<b>342,756,976</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			782,556,000
指定正味財産期末残高			<b>782,556,000</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>			<b>1,125,312,976</b>

## V 財務諸表に対する注記(貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書)

### 1 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)を採用している。
- ② 固定資産の減価償却について  
有形固定資産……定額法による減価償却を実施している。ただし会計規程第38条に基づき文化的価値有する建物等については、減価償却は行っていない。
- ③ 引当金の計上基準  
賞与引当金……職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込み額のうち当該事業年度に対応する見込額を計上している。  
退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している。
- ④ 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	731,992,242	0	3,381,641	728,610,601
構築物	8,474,837	0	496,562	7,978,275
霊廟関係資産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	145,875,721	3,878,203	0	149,753,924
小計	888,342,800	3,878,203	3,878,203	888,342,800
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	0	130,986,680
減価償却引当資産	49,806,944	0	3,300,000	46,506,944
資料購入積立資産	21,500,000	0	500,000	21,000,000
退職給付引当資産	25,035,000	1,476,000	0	26,511,000
小計	227,328,624	1,476,000	3,800,000	225,004,624
合計	1,115,671,424	5,354,203	7,678,203	1,113,347,424

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	728,610,601	(689,110,601)	(39,500,000)	0
構築物	7,978,275	0	(7,978,275)	0
霊廟関係資産	2,000,000	0	(2,000,000)	0
減価償却引当資産	149,753,924	(93,445,399)	(56,308,525)	0
小計	888,342,800	(782,556,000)	(105,786,800)	0
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	(130,986,680)	0
減価償却引当資産	46,506,944	0	(46,506,944)	0
資料購入積立資産	21,000,000	0	(21,000,000)	0
退職給付引当資産	26,511,000	0	(26,511,000)	(26,511,000)
小計	225,004,624	0	(225,004,624)	(26,511,000)
合計	1,113,347,424	(782,556,000)	(330,791,424)	(26,511,000)

4 その他固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

その他固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	24,106,320	21,844,276	2,262,044
構築物	77,499,413	61,903,912	15,595,501
霊廟関係資産	67,086,470	66,602,093	484,377
車両運搬具	1,737,490	1,737,489	1
什器備品	16,487,226	15,332,642	1,154,584
合計	186,916,919	167,420,412	19,496,507

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
仙台市市債平成29年度第2回公募公債	140,000,000	140,028,000	28,000
仙台市市債平成30年度第3回公募公債	50,000,000	49,985,000	△ 15,000
仙台市市債令和元年度第3回公募公債	13,000,000	12,980,500	△ 19,500
合計	203,000,000	202,993,500	△ 6,500

6 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	2,830,000	2,678,000	2,830,000	2,678,000
退職給付引当金	25,035,000	1,476,000	0	26,511,000

VI 財産目録

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)


貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	つり銭準備金 3/31売上	393,135
預金	普通預金 七十七銀行仙台市役所支店 三井住友銀行仙台支店	運転資金として 運転資金として	20,954,474 2,565,384
売掛金	エアレジ	観覧料売上 クレジット・クーポン	267,150
未収金	受託販売業者	受託販売手数料3月分	89,612
前払費用	PCA法人会計・仙台国際空港株式会社	法人会計クラウド使用料・パンフレットラック使用	112,200
<b>流動資産合計</b>			<b>24,381,955</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
建物	瑞鳳殿、感仙殿、善応殿、仙台市青葉区 霊屋	不可欠特定財産として公益目的に供している	728,610,601
霊廟関係資産	展示品	不可欠特定財産として公益目的に供している	2,000,000
構築物	殉死者墓石等		7,978,275
減価償却引当資産	仙台市市債平成29年度第2回七十七銀行 仙台市市債平成29年度第2回仙台銀行 仙台市市債平成30年度第3回七十七銀行 仙台市市債令和元年度第3回七十七銀行	満期保有目的で保有し、公益目的保有財産 であり、運用益を公益目的の財源としている	30,000,000 30,000,000 50,000,000 13,000,000
特定資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店 普通預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 の財源としている	22,875,721 3,878,203
霊廟整備積立資産	仙台市市債平成29年度第2回七十七銀行	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的 の事業に供している	60,000,000
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を 公益目的事業の財源に供している	45,986,680
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の財源に供している	5,000,000
	仙台市市債平成29年度第2回七十七銀行	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的 の事業の財源に供している	20,000,000
減価償却引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を 公益目的事業の財源に供している	46,380,352
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の財源に供している	126,592
資料購入積立資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を 公益目的事業の財源に供している	20,000,000
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を 公益目的事業の財源に供している	1,000,000
退職給付引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店 普通預金七十七銀行仙台市役所支店	職員退職給付引当金に対応する資産として 管理している	25,035,000 1,476,000
<b>その他固定資産</b>			
建物	倉庫等	公益目的事業	2,262,044
構築物	避雷針、水銀灯電気設備等	公益目的事業	15,595,501
霊廟関係資産	伊達政宗坐像縮小模型等	主として公益目的事業	484,377
車両運搬具	公用車	主として公益目的事業	1
什器備品	銅製大花瓶、提灯掛等	公益目的事業	1,154,584
<b>固定資産合計</b>			<b>1,132,843,931</b>
<b>資産合計</b>			<b>1,157,225,886</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金	臨時職員	給料	68,120
	職員	超過勤務等	34,946
	仙台北年金事務所、仙台中税務署等	社会保険3月分・消費税	2,262,486
	三菱電機システムサービス等	公益目的事業 修繕費・賃借料等	115,177
	仙台市水道・協和サービスセンター等	公益目的事業 光熱水費・燃料費等	119,681
預り金	職員	住民税3月分	123,500
賞与引当金	職員	職員の賞与支給に備えたもの	2,678,000
<b>流動負債合計</b>			<b>5,401,910</b>
<b>(固定負債)</b>			
退職給付引当金	職員	公益目的事業退職給支給に備えたもの	26,511,000
<b>固定負債合計</b>			<b>26,511,000</b>
<b>負債合計</b>			<b>31,912,910</b>
<b>正味財産</b>			<b>1,125,312,976</b>


# 監査報告書

令和4年5月16日

公益財団法人 瑞鳳殿  
理事長 藤本 章 様

公益財団法人 瑞鳳殿

監事 高山秀樹 

監事 中鉢克雄 

私達は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度、公益財団法人瑞鳳殿の事業及び会計の監査を行いました。その結果を次のとおり報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。